

- 10) 山崎和久：歯周病と全身の健康．島根県歯科医師会 歯周疾患予防管理研修・糖尿病の医科歯科連携研修会，松江市，2015年11月1日．
- 11) 小林哲夫：精神科患者の口腔ケア．平成27年度松浜病院栄養食事委員会・医療安全管理委員会・誤嚥防止部会共催研修会，新潟市，2015年11月11日．
- 12) 久保田健彦：明日から役立つ！歯周治療における様々な疑問に答える 基本治療・再生・インプラント・全身疾患．群馬県藤岡多野歯科医師会学術講演会，藤岡市，2016年1月31日．

### 歯科矯正学分野

#### 【著書】

- 1) 齋藤 功：顔の成長・発達．顔の百科事典（日本顔学会 編），182-186頁，丸善出版，東京，2015．
- 2) 齋藤 功：顔の左右対称性・歪．顔の百科事典（日本顔学会 編），212-213頁，丸善出版，東京，2015．

#### 【論文】

- 1) Fukui T, Kano H, Saito I: Nonsurgical treatment of adult open bite with a large lower anterior facial height using the edgewise appliance combined with temporary anchorage devices. *Am J Orthod Dentofacial Orthop*, 2015, in press.
- 2) Otake M, Kurose M, Uchida Y, Hasegawa M, Yamada Y, Saito I, Yamamura K; The interactions between different tastes on initiation of reflex swallow elicited by electrical stimulation in humans. *Odontology*, 2015, in press.
- 3) Sakaue K, Sasakura C, Fukui T, Hori K, Ono T, Saito I: Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism. *J Oral Rehabil*, 2015, in press.
- 4) Saito D, Mikami T, Oda Y, Hasebe D, Nishiyama H, Saito I, Kobayashi T: Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties, and bone metabolic markers in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2015, in press.
- 5) Akiba Y, Mizuta A, Kakihara Y, Nakata J, Nihara J, Saito I, Egusa H, Saeki M: The inhibitors of cyclin-dependent kinases and GSK-3 $\beta$  enhance osteoclastogenesis. *Biochemistry and Biophysics Reports* 5: 253-258, 2016.
- 6) Ihyo C, Saito I: Alterations in the Expression Pattern of the Acid-Sensing Ion Channel 3 (ASIC3) during the Regeneration of Periodontal Ruffini Endings. *Niigata Dent. J.* 45(1): 7-17, 2015.
- 7) Takatsuji H, Kobayashi T, Kojima T, Hasebe D, Izumi N, Saito I: Effects of orthognathic surgery on psychological

- status of patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg* 44(9): 1125-1130, 2015.
- 8) 齋藤 功：歯科矯正用アンカースクリューを併用した審美的治療—ガミースマイルの改善に焦点を当てて—．*歯科審美学会雑誌* 28(2)：87頁，2016．
- 9) 竹山雅規，福井忠雄，小栗由充，越知佳奈子，中川麻里，焼田裕里，齋藤 功：矯正用インプラントアンカーのタイプ別適用について考察する—大白歯を圧下した2症例をもとに—．*甲北信越矯正歯科学会雑誌* 23(1)：34-42，2015．
- 10) 朝日藤寿一，幸地省子，須佐美隆史，丹原 惇，齋藤 功：顎裂部骨移植に関するアンケート調査．*日口蓋裂学会雑誌* 40(3)：219-225，2015．
- 11) 藤原百合，鈴木恵子，齋藤 功，須佐美隆史，朝日藤寿一，槇宏太郎，吉村陽子，鈴木茂彦，小野和宏，後藤昌昭：口蓋裂言語評価セミナー—日本口蓋裂学会 Japan cleft 委員会活動報告—．*日本口蓋裂学会雑誌* 40(3)：248-252，2015．
- 12) 山田瑛子，池田順行，小栗由充，齋藤 功，林 孝文，高木律男：移植歯を含む歯の矯正移動により歯列および歯槽骨の回復をはかった小児石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の1例．*小児口腔外科雑誌* 25(3)：150-155，2015．

#### 【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功，槇宏太郎，丹原 惇：顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発．*日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*，26463090，2015．
- 2) 朝日藤寿一，齋藤 功，高木律男，児玉泰光：口蓋裂患者に対する上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後総合評価システムの確立．*日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*，25463175，2015．
- 3) 福井忠雄，齋藤 功，林 孝文：超音波診断検査を用いた顎変形症の機能的診断法の開発．*日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*，25463173，2015．
- 4) 越知佳奈子，齋藤 力，齋藤 功：機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用．*日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*，26463091，2015．
- 5) 丹原 惇：有限要素法を用いた顎矯正手術後の顎骨内応力解析による術後変化予測とその臨床応用．*日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B)*，25862005，2015．
- 6) 焼田裕里：顎矯正手術シミュレーションへの応用を視野にいた術前後軟組織変化様相の解明．*日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)*，

25862007, 2015.

- 7) 吉居朋子: アクアポリン1を用いた歯の移動におけるラット臼歯歯根膜動態の比較検討. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 25862006, 2015.
- 8) 高橋功次郎: うつ病モデルラットを用いた疼痛性障害発症の解明. 平成26年度研究活動スタート支援, 2689308400021, 2015.
- 9) 大竹正紀: 加齢に伴う三叉神経領域における異常疼痛の発症機序の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 15K20639, 2015.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Current status and future prospect of surgical orthodontic treatment for Japanese orthognathic patients. 8th International Orthodontic Congress, London, 29 September 2015, abstract book: 53, 2015.
- 2) 丹原 惇: 矯正歯科と FEA シミュレーション. Autodesk Simulation Day 2015 招待講演, 東京, 2015年12月11日, プログラム URL: [http://static-dc.autodesk.net/content/dam/autodesk/www/campaigns/aif2015/Simulation\\_Day\\_2015\\_flyer.pdf](http://static-dc.autodesk.net/content/dam/autodesk/www/campaigns/aif2015/Simulation_Day_2015_flyer.pdf), 2015.
- 3) 齋藤 功: 矯正治療の質向上のためにー基本コンセプトと長期安定性の考察ー. 第43回日本臨床矯正歯科医会大会, 長野, 2016年2月24日, 同学会大会プログラム・抄録集: 18-19頁, 2016.
- 4) 齋藤 功, 吉田教明: バイオメカニクスを考慮した効率的な歯の移動メカニクスの提案. 第74回日本矯正歯科学会大会座長, 福岡, 2015年11月20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 100頁, 2015.
- 5) 福井忠雄, 齋藤 功: 新潟大学の矯正臨床は今ーそして近未来の治療戦略. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 30頁, 2015.
- 6) 富永和宏, 齋藤 功: 外科的矯正治療における顎位の決定. 第25回日本顎変形症学会総会・学術大会コーディネーター, 東京, 2015年6月5日, 日本顎変形症学会雑誌 25(2): 89頁, 2015.
- 7) 朝日藤寿一, 丹原 惇, 中田樹里, 高木律男, 小林正治, 宮田昌幸, 齋藤 功: 口唇口蓋裂形成時期の違いが咬合状態や矯正歯科管理に及ぼす影響について. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 79頁, 2015.
- craniofacial development. Craniofacial Morphogenesis and Tissue Regeneration Gordon Research Conference, Ventura, 13 March 2016, abstract book: p12, 2016.
- 2) Nihara J, Uribe F, Nanda R, Saito I: Finite element analysis of mandibular molar protraction with sliding mechanics and orthodontic anchor screw. The 74th Annual Meeting of Japanese Orthodontic Society, Fukuoka, 18-20 November 2015, abstract book: p143, 2015.
- 3) Ohkura M, Ohkura N, Saito I, Okiji T: Expressional analysis of prostaglandin I<sub>2</sub> synthase and receptor in rat molar pulp during experimental tooth movement. The 74th Annual Meeting of Japanese Orthodontic Society, Fukuoka, 18-20 November 2015, abstract book: p327, 2015.
- 4) Susami T, Saito I, Asahito T: History of the inter-center collaborative study to improve cleft care in Japan. 4th International Symposium on Oral Cleft, Bauru, 7 November 2015.
- 5) Fukui T, Saito I: Vertical control combined with orthognathic surgery in patients with dentofacial deformity. 8th International Orthodontic Congress, London, 27-30 September 2015.
- 6) Nishino K, Kohara A, Yakita Y, Ochi K, Hayashi T, Takagi R, Kogbayashi T, Terada K, Saito I: An analysis of facial changes following mandibular setback surgery by three-dimensional integration model of CBCT and dental cast data. 8th International Orthodontic Congress, London, 27-30 September 2015.
- 7) Oomori Y, Morita S, Takahashi K, Nihara J, Saito I: Changes in vermilion lip morphology after premolars extraction treatment in Angle Class I bimaxillary protrusion. 8th International Orthodontic Congress, London, 27-30 September 2015.
- 8) Nakata J, Kakihara Y, Nihara J, Saito I, Egusa H, Saeki M: Screening for drugs affecting osteoclast differentiation. The 33rd annual meeting of the Japanese society for bone and mineral research, Tokyo, 23-25 July 2015, abstract book: p196, 2015.
- 9) Asahito T, Kochi S, Susami T, Nihara J, Saito I: A questionnaire survey of alveolar bone grafting in patients with UCLP. 10th European Craniofacial Congress, Gothenburg, 24-27 June 2015, Final program: p107, 2015.
- 10) Madachi K, Takagi R, Asahito T, Oominato R, Kodama Y, Saito I: Clinical evaluation of craniofacial growth after Furlow's method in two-stage palatoplasty in comparison with that after Perko's method. 10th European

#### 【学会発表】

- 1) Kitami K, Kitami M, Komatsu Y; The role of BRCA1 in

- Craniofacial Congress, Gothenburg, 24-27 June 2015, Final program: p139, 2015.
- 11) 坂上 馨：個性正常咬合者と骨格性下顎前突患者の嚙下時舌圧発現様相の比較検討. 学位研究紹介, 新潟, 2015年12月4日, 新潟歯学会雑誌 45(2): 87-89頁, 2015.
  - 12) 山田一穂, 星名秀行, 勝見祐二, 永田昌毅, 福井忠雄, 児玉寿光, 植松晃也, 小川 信, 小林正治, 魚島勝美, 高木律男: 小児期の上顎肉腫治療後の上顎裂成長に外科矯正・インプラント義歯を適用した1例. 第19回顎顔面インプラント学会, 横須賀, 2015年11月28日, 顎顔面インプラント学会誌 14(3): 190頁, 2015.
  - 13) 竹山雅規, 小林正治, 齋藤 功: 動的矯正歯科治療開始前における顎顔面形態と睡眠呼吸機能との関連. 第14回日本睡眠歯科学会定期学術集会, 豊明, 2015年11月23日, 睡眠口腔医学雑誌 2(1): 46頁, 2015.
  - 14) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次郎, 森田修一, 齋藤功: 小臼歯抜去により治療したAngle Class II上顎前突における矯正治療前後の赤唇形態変化. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 155頁, 2015.
  - 15) 越知佳奈子, 山添清文, 小原彰浩, 西野和臣, 齋藤力, 齋藤 功: 上下顎歯列一歯槽部のコーディネーション評価システムの開発. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 156頁, 2015.
  - 16) 小原彰浩, 西野和臣, 坂上 馨, 越知佳奈子, 寺田員人, 齋藤 功: モーションキャプチャーを用いた表情筋動態解析—第一報 正確なマーカー添付が可能な検査システムの開発. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 159頁, 2015.
  - 17) 坂上 馨, 篠倉千恵, 福井忠雄, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚙下時舌圧発現様相の解析. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 171頁, 2015.
  - 18) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 工藤和子, 八木 稔, 齋藤功: 総合大学新入生における歯列に対する自己評価と客観的評価との関連性. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 229頁, 2015.
  - 19) 高橋功次郎, 丹原 惇, 大森裕子, 上村藍太郎, 森田修一, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科において混合歯列期より治療・管理を介した上顎前突患者の治療効果. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 238頁, 2015.
  - 20) 大竹正紀, 丹原 惇, 大竹正人, 高橋功次郎, 森田修一, 齋藤 功: 混合歯列期に歯列弓拡大を行った症例における大臼歯間幅径の長期的変化. 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015年11月18日-20日, 同学会大会プログラム・抄録集: 270頁, 2015.
  - 21) 倉部華奈, 加藤祐介, 小島 拓, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が顎変形症患者の口腔関連QOLに及ぼす影響. 平成27年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2015年11月7日, 新潟歯学会雑誌 45(2): 110頁, 2015.
  - 22) 倉部華奈, 隅田好美, 加藤祐介, 小島 拓, 齋藤功, 小林正治: 外科的矯正治療による顎変形症患者の心理・社会的変化の過程: グラウンデッド・セオリー・アプローチによる解析. 平成27年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2015年11月7日, 新潟歯学会雑誌 45(2): 110頁, 2015.
  - 23) 中田樹里, 柿原嘉人, 秋葉陽介, 丹原 惇, 齋藤功, 江草 宏, 佐伯万騎男: 破骨細胞分化に影響を与える薬剤のケミカルライブラリースクリーニング. 第66回日本薬理学会北部会, 富山, 2015年9月18日, 同学会北部会プログラム・抄録集: 53頁, 2015.
  - 24) 中田樹里, 柿原嘉人, 丹原 惇, 齋藤 功, 江草宏, 佐伯万騎男: 破骨細胞分化に影響を与える薬剤の探索. 第33回日本骨代謝学会学術集会, 東京, 2015年7月23-25日, 同学会学術集会プログラム・抄録集: 196頁, 2015.
  - 25) 土田麻衣子, 近藤淳子, 丹原 惇, 福井忠雄, 森田修一, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における口腔衛生指導システムの紹介. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 54頁, 2015.
  - 26) 上村藍太郎, 高橋功次郎, 大森裕子, 丹原 惇, 森田修一, 齋藤 功: 混合歯列期上顎前突の治療管理に関する調査. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 55頁, 2015.
  - 27) 吉居朋子, 齋藤 功: 軽度の下顎偏位と過蓋咬合を伴うアングルIII級下顎前突症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 60頁, 2015.
  - 28) 高辻華子, 福井忠雄, 齋藤 功: 叢生を伴うアングルI級歯性上下顎前突・開咬症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 63頁, 2015.
  - 29) 焼田裕里, 齋藤 功: 下顎左側第二小臼歯の舌側傾

- 斜によるアングルIII級 subdivision 骨格性II級上顎前突症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 64頁, 2015.
- 30) 小原彰浩, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 下顎側切歯の先天性欠如を伴うアングルIII級 subdivision 叢生症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 68頁, 2015.
- 31) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 矯正用インプラントアンカー(仮称; プレートタイプ)を併用した重度上下顎前突症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 70頁, 2015.
- 32) 井表千馨, 小栗由充, 福井忠雄, 齋藤 功: Angle Class II subdivision 叢生症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 71頁, 2015.
- 33) 大竹正紀, 森田修一, 齋藤 功: Angle Class III 叢生症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 74頁, 2015.
- 34) 越知佳奈子, 山添清文, 齋藤 功: 変則的な抜歯を行った成人上顎前突症例. 第30回甲北信越矯正歯科学会記念大会, 新潟, 2015年7月19日, 同学会記念大会プログラム・抄録集: 75頁, 2015.
- 35) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 工藤和子, 八木 稔, 齋藤 功: 総合大学新入生における歯列に対する自己評価と客観的評価との関連性. 平成27年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2015年7月11日, 新潟歯学会雑誌 45(2): 97頁, 2015.
- 36) 大倉麻里子, 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 依田浩子, 大島勇人, 齋藤 功, 興地隆史: 実験的歯の移動時におけるラット臼歯歯髄内 prostaglandin I<sub>2</sub> 合成酵素と受容体の発現解析. 平成27年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2015年7月11日, 新潟歯学会雑誌 45(2): 97頁, 2015.
- 37) 倉部華奈, 加藤祐介, 小島 拓, 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症患者における口腔関連QOLの評価. 第25回日本顎変形症学会総会, 東京, 2015年6月4日-5日, 日本顎変形症学会雑誌 25(2): 122頁, 2015.
- 38) 丹原 惇, 高橋功次郎, 森田修一, 小林正治, 池田順行, 林 孝文, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における移動量の左右差と正中中部移動量との関係. 第25回日本顎変形症学会総会, 東京, 2015年6月4日-5日, 日本顎変形症学会雑誌 25(2): 153頁, 2015.
- 39) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次郎, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における顎矯正手術後の正貌輪郭の変化. 第25回日本顎変形症学会総会, 東京, 2015年6月4日-5日, 日本顎変形症学会雑誌 25(2): 155頁, 2015.
- 40) 深井真澄, 大湊 麗, 工藤和子, 児玉泰光, 永田昌毅, 今井信行, 小野和宏, 齋藤 功, 小林正治, 高木律男: 口蓋裂言語が長期化している口蓋裂成人患者の心情に関する質的研究. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月21日-22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 156頁, 2015.
- 41) 西野和臣, 丹原 惇, 朝日藤寿一, 森田修一, 宮田昌幸, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者における前歯部排列に関する臨床統計調査. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月21日-22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 164頁, 2015.
- 42) 真野樹子, 石渡靖夫, 朝日藤寿一, 岩田敏男, 坂本輝男, 森下 格, 山元有理, 須田直人, 須佐美隆史, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂における矯正歯科治療後の咬合に関する多施設アンケート調査. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月21日-22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 166頁, 2015.
- 43) 朝日藤寿一, 丹原 惇, 竹山雅規, 眞舘幸平, 中田樹里, 西野和臣, 小林正治, 高木律男, 宮田昌幸, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における永久歯列期矯正治療後の咬合評価. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月21日-22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 166頁, 2015.
- 44) 中田樹里, 丹原 惇, 朝日藤寿一, 森田修一, 宮田昌幸, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂症例における混合歯列前期の咬合評価. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月21日-22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 170頁, 2015.
- 45) 村上智子, 丹原 惇, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者における埋伏犬歯に関する臨床統計調査. 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2015年5月21日-22日, 日本口蓋裂学会雑誌 40(2): 170頁, 2015.
- 46) 齋藤大輔, 三上俊彦, 小田陽平, 長谷部大地, 西山秀昌, 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症患者における顎顔面形態と骨代謝ならびに骨質の評価. 第69回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2015年5月13日

## 摂食嚥下リハビリテーション学分野

-15日, 日本口腔外科学会雑誌 64(2): 163頁, 2015.

- 47) 眞館幸平, 高木律男, 大湊 麗, 児玉泰光, 飯田明彦, 小野和宏, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 二段階形成法において Furlow 法を施行した口蓋裂児の顎発育 -Perko法との比較-. 第48回新潟歯学会総会, 新潟, 2015年4月18日, 新潟歯学会雑誌 45(1): 27頁, 2015.

### 【研究会発表】

- 1) 福井忠雄: 成長期上顎前突症例(下顎骨の下方成長が優位な症例). 第37回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015年4月20日.
- 2) 福井忠雄: 成長期上顎前突症例(下顎骨の前方成長が優位な症例). 第37回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015年4月20日.
- 3) 福井忠雄: 成人の著しい叢生を伴う上顎前突症例. 第37回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015年4月20日.
- 4) 竹山雅規: 成長期中立咬合症例. 第37回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015年4月20日.
- 5) 竹山雅規: 成人期中立咬合症例. 第37回与五沢矯正研究会, 宇奈月, 2015年4月20日.

### 【受賞】

- 1) 眞野樹子, 石渡靖夫, 朝日藤寿一, 岩田敏男, 坂本照雄, 森下 格, 山元有理, 須田直人, 須佐美隆史, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂における矯正歯科治療後の咬合に関する多施設アンケート調査. 優秀ポスター賞, 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2015年5月22日.

### 【その他】

- 1) 齋藤 功: 顎変形症の矯正治療. 長崎大学歯学部特別講義, 長崎, 2015年7月14日.
- 2) 齋藤 功: 新潟大学における顎変形症治療システムの紹介. 長崎大学大学院歯科矯正学分野・矯正セミナー, 長崎, 2015年7月13日.
- 3) 齋藤 功: 新潟大学における矯正治療のコンセプトと臨床の実際 -成人矯正治療例および他科との協同治療を中心に-. 北海道医療大学歯学部矯正歯科学講座同門会セミナー, 札幌, 2015年7月1日.
- 4) 丹原 惇: シミュレーションで探る歯の移動メカニクス 歯科矯正学の世界に新たな可能性を切り拓く. 株式会社CAEソリューションズ ホームページ掲載, <http://www.cae-sc.com/ed-autodesk-simulation-mechanical/ed-autodesk-simulation-mechanical-0001.html>, 2015.

### 【著書】

- 1) 井上 誠: 摂食嚥下と呼吸. 摂食嚥下リハビリテーション, 医歯薬出版, 印刷中.
- 2) 高松 潔, 小川真理子, 伊藤加代子: 第4章⑤ドライバジャイナの検査, 診断と治療, ドライシンドロームの基礎と臨床, メディカルレビュー社, 162-168, 2016.
- 3) 高松 潔, 小川真理子, 伊藤加代子: 第3章⑦女性ホルモンとドライシンドローム, ドライシンドロームの基礎と臨床, メディカルレビュー社, 129-135, 2016.

### 【論文】

- 1) Magara J, Michou E, Raginis-Zborowska A, Inoue M, Hamdy S: Exploring the effects of synchronous pharyngeal electrical stimulation with swallowing carbonated water on cortical excitability in the human pharyngeal motor system. *Neurogastroenterol Motil*, in press.
- 2) Kishimoto N, Stegaroiu R, Shibata S, Ito K, Inoue M, Ohuchi A: Changes in the Oral Moisture and the Amount of Microorganisms in Saliva and Tongue Coating after Oral Ingestion Resumption: a Pilot Study. *The Open Dentistry Journal*, in press.
- 3) Tsujimura T, Tsuji K, Magara J, Sakai S, Suzuki T, Nakamura Y, Nozawa-Inoue K, Inoue M: Differential response properties of peripherally and cortically evoked swallows by electrical stimulation in anesthetized rats. *Brain Res Bull* 122:12-18, 2016.
- 4) Michou E, Raginis-Zborowska A, Watanabe M, Lodhi T, Hamdy S: Repetitive transcranial magnetic stimulation; a novel approach for treating oropharyngeal dysphagia. *Curr Gastroenterol Rep* 18(2):1-9, 2016.
- 5) Shiino Y, Sakai S, Takeishi R, Hayashi H, Watanabe M, Tsujimura T, Magara J, Ito K, Tsukada T, Inoue M: Effect of body posture on involuntary swallow in healthy volunteers. *Physiol Behav* 155:250-259, 2016.
- 6) Iwasaki M, Yoshihara A, Ito K, Sato M, Minagawa K, Muramatsu K, Watanabe R, Manz M, Ansai T, Miyazaki H: Hyposalivation and dietary nutrient intake among community-based older Japanese. *Geriatrics Gerodontology*, in press.
- 7) Sogawa Y, Kimura S, Harigae T, Sakurai N, Toyosato A, Nishikawa T, Inoue M, Murasawa A, Endo N: New Swallowing Evaluation using Piezoelectricity in Normal Individuals. *Dysphagia* 30:759-767, 2015.